



【 10月13日 仏教讃歌コンサートの様子 】



ソプラノ：田坂蘭子 氏
テノール：岡本泰寛 氏
ピアノ：頼田恵 氏



久しぶりに行った讃仏歌コンサートに一同耳を澄まして聴き入りました。透き通ったソプラノの声に心が洗われるようでした。岡本泰寛（前住職の長男）さんのテノールに亡くなった前住職もニコニコと聴いていたことでしょう。《坊守》

次第です。

中する事が少なくなっています。今

も心が青春との思いを抱きつつ生き抜きたいとつくづく思った

次第です。

十月の定例法座は、おそらく二十年ぶり位であろう「音楽法要」を開催させていただきました。音楽が苦手な私にとって避けていた分野でしたが、わずか四十分余りの時間。大きな感動を味あわせていただいた貴重な経験でした。

研ぎ澄まされたプロの技に、感動より深い・自分の心が打ち震える思いを抱きました、と同時に何故か大学時代にテニスコートでの一球一球に精魂込めていた自分の姿を思い出しました。最近の生活では、

ひたむきに・一生懸命集中する事が少なくなっています。今も心が青春との思いを抱きつつ生き抜きたいとつくづく思った次第です。

誓願寺住職 古賀尚之

われもひかりのうちにあり



しんらん同人

No.583

11・12
月号

浄土真宗本願寺派 誓願寺
〒171-0052 東京都豊島区南長崎1-3-8
【電話】03-3950-7828

【ホームページ】<http://www.seiganji-tokyo.jp/>

落着くべきところ

誓願寺初代住職 故岡本泰雄

昭和六十一年五月。亡くなる半年前の法要において

今こうしてお勤めをしながら、大変長い間お世話になった皆さまのご恩を思いますと、何となく胸が詰まって参りまして、自分ながらおかしいなと何べんも言い聞かせながら、どうにも仕様のない気持ちであります。

何故こういう風に悲しまずにはおれないかということを考えてみましたところ、自分自身が死んでいくということ、それが悲しいんだということではないようです。

本当に自分はどうかという事を考えてみますと、今までお聞かせ頂いておりますように。間違はなくお浄土に参らせていただく。私の値打ちで参るのではなく、如来さまの一人働きで、私のようなものも、お浄土に参らせて頂くんだと。その点は本当にありがたいことに、安心させていただいておりますが、今迄四十年・五十年と親しく付き合って下さって、私のことを色々ご心配下さった皆様方とお別れすることが、つらいというか、それでついこういう情けない姿になってしまうのだと思います。

しかしながら、私達はいつもお聞かせいただくように。この人生というのは、本当に無常の世界でございまして、いつまでも共に生きるということは出来ないわけ。一人ひとり自分の業によつて、人生を生き。皆さんとさよならして行かなくてはならないのであります。

それが現実に今、私の身にかかろうとしているのであります。

しかしまた考え直してみますと、家内が「先生、どの位もちましようか」とお尋ねしたのであります。一・二ヶ月位のつもりで言ったのでしよう。そうしたら「いやいや半年ぐらいは

もつかもしれませんが」というお話であつたそうです。ただ半年ぐらいだろうということ聞かせてもらっているだけで「それくらいだなあ」と自分で考えているだけであります。

けれどももっと早いかもしれませぬ。今申しますように私自身は、行くべきところを、落着くべきところを与えて頂い



ておりますので、お念仏と共にそこまで生き抜かせていただく。やがてお浄土に参らせて頂くと。そうしますと、実は私が自分で書いたんですが、お内陣に「俱会一処」と書いてありますね。あれは阿弥陀經の中にある有名な言葉で、俱に一つの所に居る、ということなんです。

俱に一つの所に会う。一つの所というのはお浄土ですね。俱に一つの所で会わせていただくんだ。お浄土でみんないっしょにさせて頂くんだ、ということでありましょう。

あの字を見ておりましたら、なるほど私の父も母も、兄弟たちも、あるいは知り合いの沢山の人も、みんなお浄土に参られて、むしろ向こうの方が賑やかになっているのじゃないかなという気も致します。

だから父も母も待っていてくれるだろう。友達もみんな向こうへ往って、お浄土に参らせて頂いている方々ばかりであろう、というようなことが、字を見てしみじみと感ぜられました、ここまで一緒に来た皆様とさよならすることは寂しいけれども、それもやがてはお浄土でいっしょにさせて頂く世界があるのだなあと、こう考えてみますと、ただもうお念仏を申すより他にないのであります。



どうぞこれは人ごとではありません。やがては皆さんのお一人の上に、問題が必ずやってくるわけであります。しかしいつ来てもよろしいという、そういう安心を頂いているということは、本当に幸なことだと思えますね。

それには、ただひたすらお念仏を申して「ただ念仏して弥陀に助けまいらすべしと、よきひとの仰せをこうむりて、信ずる」より他にはないのであります。

合掌

**ご法座等
のご案内**



どなたでもご自由に
ご参加いただけます。
参加費は無料です。

11月

■午後一時～
11・24 (日)
報恩講法要・祥月命日合同法要
【古賀明德 副住職】

■午前十時～
なかよしクラブ
(乳幼児から小学生までとその保護者)

■11・17 (日)
医療相談
【佐藤公彦医師】
医療相談終了後に軽食を取り、本堂の掃除を行います。

■午前十時～
定例法座
【上野隆平師 (京都府)】

■正午～
医療相談
【佐藤公彦医師】

12月

■午後一時～
1・1 (水)
元旦会

■午後十一時三十分～
除夜会

■12・31 (火)
なかよしクラブ
(乳幼児から小学生までとその保護者)

■午前十時～
医療相談
【佐藤公彦医師】

■午前十時～
定例法座・祥月命日合同法要
【岡本信悟師 (東京・大恩寺住職)】

■正午～
医療相談
【佐藤公彦医師】

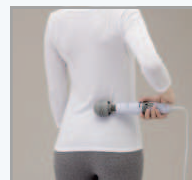
12月の第4日曜日
(12/22)の法座は
ありません。

編集後記





〔干したばかりの干し柿〕

〔2025年の来寺記念品は小型マッサージ機となりました。来寺いただいた方の心に寄り添いながら、身体の疲れも癒せるよう準備しております。〕 (画像は公式サイトより)

・ 十月末にコロナのワクチン接種を受けました。十一月にはインフルエンザの予防接種を予定しています。様々なご意見もあるようですが、自己管理は自分の責任で行いましょう。

・ 福岡の弟から三種類・八十個の渋柿が届きました。早速恒例の干し柿作りを行いました。

・ 来年のカレンダーへの法座開催の押印は省略致します、ご容赦ください。また、来寺記念品(小型マッサージ機)への文字挿入は進行中です。